

netfire v1導入のご提案



© 2006-2009 Netfire, Inc.

株式会社ネットファイア

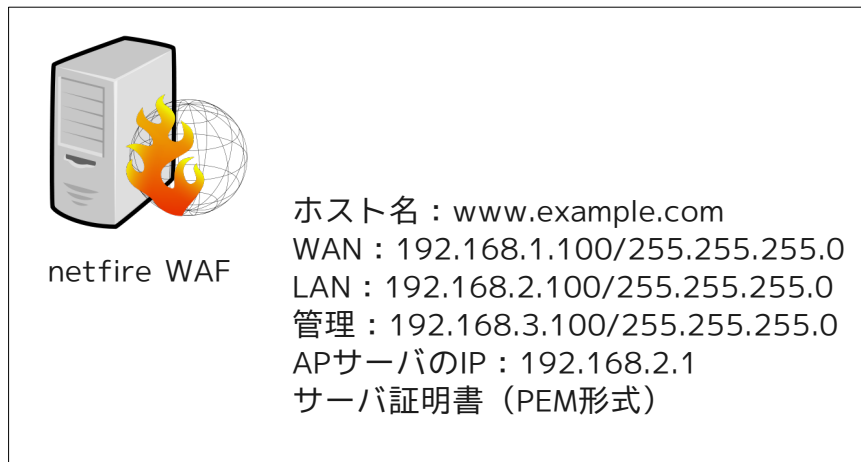
e-mail: info@netfire.jp
tel: 03-5428-5627

ネットワーク構成

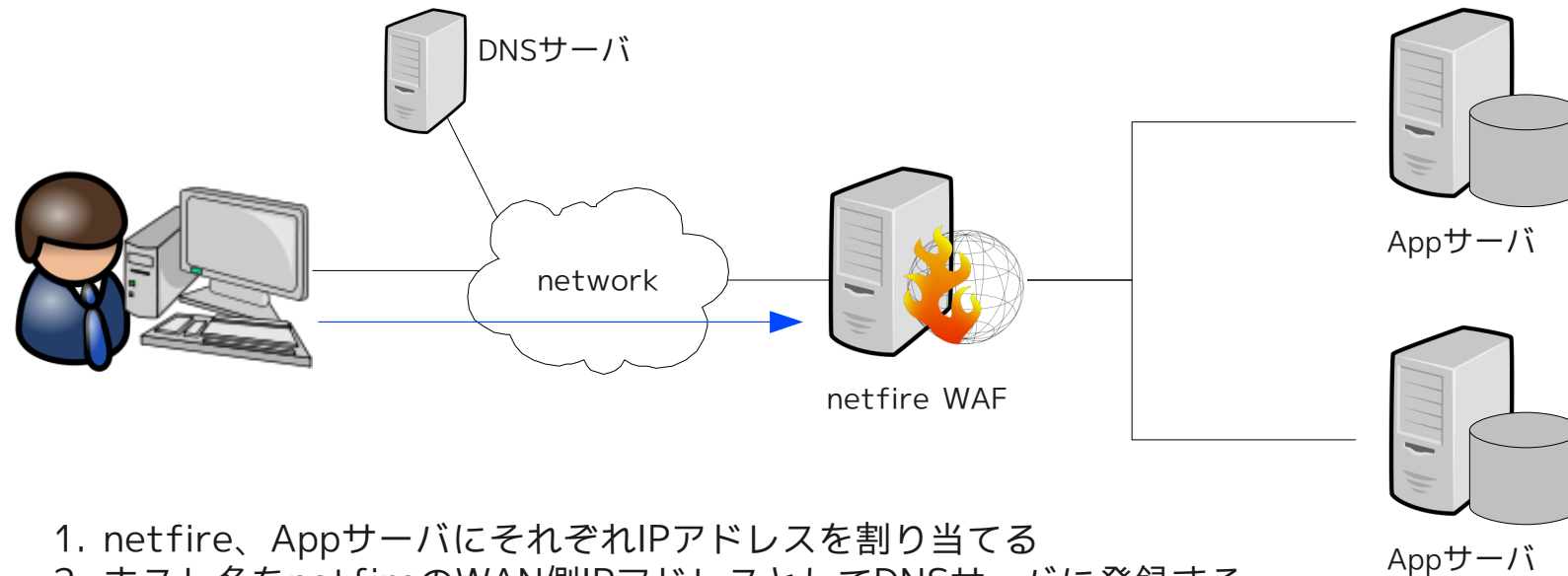
設定に必要な項目

- Appサーバの各IPアドレス
- Appサーバの各ホスト名
- Appサーバのサーバ証明書（SSLを使用の場合）
- netfireのWAN側IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバ
- netfireのLAN側IPアドレス、ネットマスク
- netfireの管理ポート用IPアドレス、ネットマスク

例：LAN側にAPサーバが接続されている場合



構成方法1：セグメントを分ける場合



1. netfire、AppサーバにそれぞれIPアドレスを割り当てる
2. ホスト名をnetfireのWAN側IPアドレスとしてDNSサーバに登録する
3. netfireにホスト名とAppサーバのIPアドレスを設定する
4. サーバ証明書をnetfireにアップロードする（SSL使用の場合）

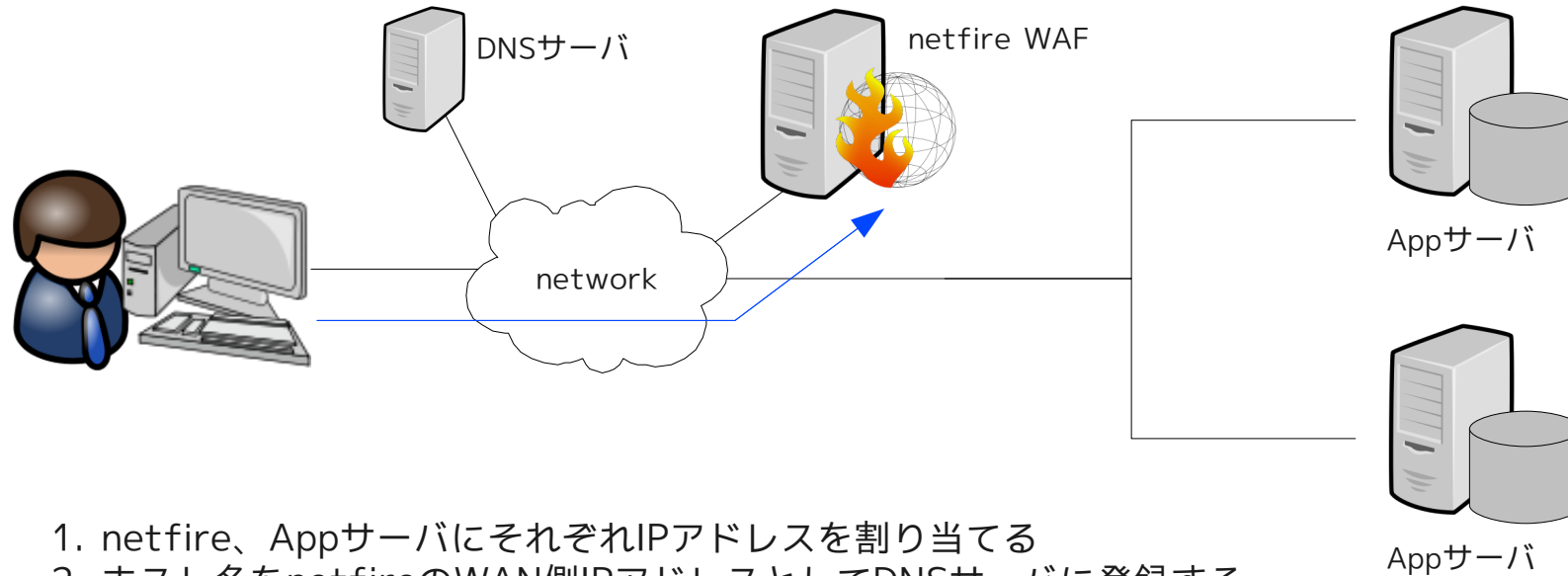
メリット

Appサーバのセグメントを分けることでアクセスを強制できるため、セキュリティの強化が図れる

デメリット

障害時、netfireの代替サーバが必要になる（要冗長化）

構成方法2：同一セグメントにする場合



1. netfire、AppサーバにそれぞれIPアドレスを割り当てる
2. ホスト名をnetfireのWAN側IPアドレスとしてDNSサーバに登録する
3. netfireにホスト名とAppサーバのIPアドレスを設定する
4. サーバ証明書をnetfireにアップロードする（SSL使用の場合）
5. TCP/IPレベルでAppサーバへのアクセスをフィルタする
（netfireからのみアクセスを許可するようにする）

メリット

障害時に、ホスト名をAppサーバのIPアドレスにすることで暫定復旧できる

デメリット

内部でTCP/IPレベルのフィルタが別途必要になる

